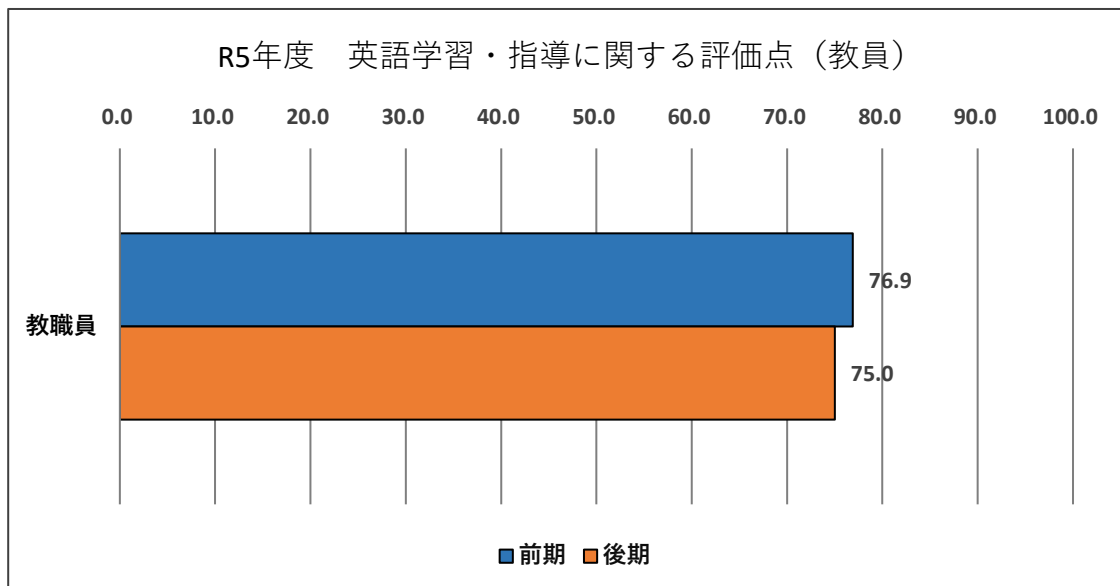


令和6年度 英語学習に関する学校評価



○実施時期 前期：7月・後期：12月

○質問項目

教職員：子どもたちが関心や意欲をもって英語の学習に取り組めるように工夫し、その成果が現われてきた。

（とてもそう思う・そう思う・あまり思わない・まったく思わない）

※評価点について、【強い肯定】【弱い肯定】【弱い否定】【強い否定】の4段階で評価。その結果を【強い肯定】100点、【弱い肯定】75点、【弱い否定】25点、【強い否定】0点として得点化しました。50点で【ふつう】と考えています。

○考察

後期になって長年指導を担ってきたMETからMICへの交代があったが、このことによる影響はないと考える、着任したMICもベテランであり、それぞれの個性や出身国を生かした授業を構築している。評価の数値には、教職員は英語の授業を重ねているものの、指導に対する自信や手ごたえはまだ十分ではないように感じられる。今後もMICと連携した授業づくりを意識し研鑽を深めていく必要がある。